

会議名	第3回新城地域協議会		公開
日時	平成30年6月2日(土) 午後1時00分～午後4時30分	場所	勤労青少年ホーム 軽運動場
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、京極善市、陶山典男、夏目文男、 加藤賢一、伊藤美代子、笹田明男、石野敏弘、酒向雅子、本田廣美、 藤村信芳、中野泰志、森正彦、後藤幸子、石黒謙治、浅岡勝 奥平宏幸、村田博和、上田寿彦、鳥山勉、今泉栄、谷山義雄		
	(事務局) 企画部：三浦部長 自治振興課：田中参事、宮本主査、杉山主査、川合主任 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任		
欠席者	(委員) なし	傍聴者	24名
配布資料	次第、地域活動交付金申請書の写し		

議題・議事・発言等 (要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (夏目文男委員、加藤賢一委員、伊藤美代子委員)</p> <p>2 説明 事務局より、審査会の流れについて説明した。</p> <p>3 公開審査 申請のあった9件の審査を行った。このうち8件の審査は以下のとおり行った。</p> <p>(1) 団体からの事業説明 5分 (2) 委員からの質疑応答 7分 (3) 採点票への記入及び説明者の交代 3分</p> <p>残りの1件は、申請額10万円未満の説明省略案件の審査で、以下のとおり行った。</p> <p>(1) 委員からの質疑応答 7分 (2) 採点票への記入 3分</p> <p><主な質疑応答> ①「田町の清水」の有効利用(田町の清水を守る会) (委員)「田町の清水」は文化会館敷地の中にあり、管理は市とケイミックスが行っているが、そちらとの話はどうなっているか。2点目の質問となるが業者に松井建託が入っており、共同作業を行うということであるが、業者の作業上かえって危険ではないのか。団体は、どのような作業を行うか。</p>

(申請者) 管理についての市の窓口は文化課となっている。今年度の作業日程等の詳細はこれからになるため、まずは作業を行うことについての了解をいただいたところである。2点目の業者との仕事の分担ということであるが、年4回のうち3回はデッキブラシで苔を落とす作業を行うが、これは団体のみで実施をする。残りの1回が共同作業となるが、業者には防砂マットを取り替える作業をお願いしている。この作業が重労働であり、団体の構成員は高齢化により実施できないため、業者をお願いしている。共同作業と言っても、危険な作業ではなく、会の構成員は作業の補助や見学を行う程度である。

(委員) 大きな災害があった場合、上水道が断水する場合もあると思うが、この水は飲料水として利用できるか。水質検査を実施すれば利用できるのか。

(申請者) 私たちの事業目的は、飲料水の確保ではなく、洗濯などの洗い物をする際の水の確保することであるため、水質検査を行ってまで飲料水を確保するという考えはない。

(委員) 田町の清水からはどのくらいの量の水が出るのか。

(申請者) 表現するのが難しいが、300ワットの水中ポンプを使って水を汲みだしても、すぐには空にならなかった。十分に出ていると判断している。

②本町公民館の施設整備事業（全トイレの洋式化）（本町公民館）

(委員) 年間の活動計画で参加人数の記載があるが、高齢者の割合はどの程度か。また、三世代交流のような活動はされているか。

(申請者) まず、高齢者とは65歳以上ということでしょうか。

(委員) そうである。

(申請者) 正確に参加者を年齢別にカウントしているわけではないので、正確な割合は分からないが、参加者の顔ぶれを見ると、6割程度であると思う。また、特別に三世代交流という名前をつけてはいないが、豆まきや作品展、盆踊りや草刈りなどの時には、三世代で参加していただいている。そういった中で、自然に交流が図られていると思っている。

③橋向区地域拠点整備事業（橋向公民館運営委員会）

(委員) 見積りについて、パーテーション工事とは何をやられるのか。また手洗い付となっているが、トイレの中で手を洗った後、タオルで手を拭くことになると思うが、これらを替えてくれる人はいるのか。

(申請者) 申し訳ないが、専門的なことはよく分からないが、それ以外のことで、月ごとに掃除当番を決めて、1年間交代で徹底して掃除などの維持管理する体制となっている。

(委員) トイレに手すりを付ける計画はあるか。

(申請者) 今後考えていきたいと思う。付けることになれば、区費で行う。

(委員) お年寄りが使われるということであれば、手すりは必要だと思うが。

(申請者) 一番良い方法を考えながらやっていきたいと思う。

(委員) 活動計画の中で、継続する活動と新規の活動について教えていただきたい。新規の活動を行う上で、このトイレの洋式化が必要だという理解でよいか。また、工事はいつやるのか。

(申請者) 新規事業となる。

(委員) では、トイレの洋式化は起爆剤であるとの認識でよいか。

(申請者) トイレと2回の三世代交流事業を起爆剤にしたいと思っている。

(委員) 工事の実施時期は。

(申請者) 6月15日から取りかかりたいと考えている。1週間程度かかる見込み。

(委員) 事業費が高額なので、シャワートイレを外すという選択肢もあったと思う。

シャワートイレのメンテナンスは大変だということもある。そのあたりをどう考えるか。

(申請者) 本町公民館の申請ではシャワートイレは入っていないので、そのあたりも踏まえながらこれからやっていきたいと考えている。

④子育て応援交流会（新城こども園保護者会）

(委員) ポイントラリーやポスター印刷の費用がそれぞれ1千円ということだが、これで実施できるのか。

(申請者) ポイントラリーで使う材料はビニールコップ等の身近な材料を使って作成するため、この金額で十分賄えると考えている。

(委員) ポスターの方はどうか。

(申請者) ポスターは自分たちで手書きで作成し、それをカラーコピーするので、これで賄えると考えている。

(委員) 小さなこどもたちにとって、プロの方の人形劇を見ることは情緒や感性を養うのにとってもいいことだと思う。また、それに携わる保護者の方たちもここで仲良くなった仲間は一生の財産になると思う。資料の中で、昨年度の人形劇の実施状況の写真がついているが、それを見る限り参加者が少ない。今年の予定人数は100人となっているが、それだけの人数が集まるのか。また、未就園児のこどもが泣いたりしてしまったり騒がしくなってしまう場合の対策などは考えられているか。

(申請者) 参加者についてであるが、昨年度の実績人数として、新城こども園が51名、城北こども園が25名、外部からいらした未就園児親子が13組であった。今年の参加者も同程度の100名で考えており、十分集まると考えている。昨年度の写真が少なく見えるという事だと思うが、実績はこの人数であった。私自身もここで観覧していたが、園のお遊戯室がちょうどいっぱいになるぐらいで程よい人数設定だと思っている。小さなお子さんが泣いてしまった場合の対策については、昨年度見ていた限り、人形劇が始まると小さなこどもたちでも吸い込まれるように劇に見入っていて、そこまで騒がしくなることはなかった。また、こどもによっては集中できずに外へ出たくなる場合もあるかもしれないが、保護者の判断に任せたいと思っている。どうにも騒がしくなってしまう場合は、声をかけさせていただくことも検討したいと思う。できるだけ場の空気を乱さないように心がけたい。

(委員) 昨年度、この人形劇を見させていただいた。協議会委員は私一人だけであったので申し訳なかったと思う。私たちは交付金事業の審査は行っているが、それがどう使われているか、事業がどのように実施されているかを知らなければいけないと反省している。質問ではないが、お伝えしたかった。

(委員) 年長児の保護者で実施するのではなく、年少児の保護者を入れることで、事業の継承がされていくと思うが、どう考えるか。また、昨年度移動動物園を行っているが、今年度は実施予定がないので、そのあたり事業の継承性という観点からお聞きしたい。

(申請者) 保護者会の役員は6名いるが、年長児の保護者であるが、兄弟関係もおり、6名中2名は年少の保護者となっている。このため人形劇の素晴らしさなどを含め、事業の継承はされていくと考えている。また、移動動物園については、昨年度は交付金事業で実施したが、今年度は保護者会の会費で捻出して実施したいと考えている。

⑤的場公民館の環境整備事業（的場公民館）

(委員) 昨年度は部屋のLED化ということであり、効果が出ていると思うが、今年

の実施箇所は効果が出るかどうかには疑問があるが、どのように検討されたか。使用頻度が少ないのでは。

(申請者) 上がり口やトイレなどは常に使用する部分で、それ以外は使用頻度は低い。しかし、数カ所だけ残して後で交換するよりも、今まとめて交換した方が安く済むため、今回の申請とした。

(委員) 年間活動計画書の行事でミニデイの参加者が数名となっているが、本当に数名なのか。区の人口の問題もあるとは思うが。

(申請者) 昨年度の実績をもとに数名としたが、実際昨年度の参加者は9名であった。お年寄りを呼ぶにしてもこのような環境の公民館では難しいと考えている。始まったばかりの行事でもあり、こういった行事を定着させたいと考えている。人数を数名と記載したのは、昨年度の参加者数を見て記載したものの。

⑥城北こども園地域で楽しむ子育てプログラム (城北こども園保護者会)

(委員) 説明をお聞きし、とてもいい事業だと思った。食育というのは、こどもたちが自ら作って、それを舌で感じてということで本当に良い事業だと思っている。これまで、事業を通じてこどもたちにどういう良い変化があったと感じ、また食に対するこどもたちの表情や気持ちがどうであったのか、お聞かせいただきたい。

(申請者) 昨年度の結果については、味噌の違いを感じ、その種類を覚えていた。家庭では自ら進んでおにぎりをつくったりする子もいたので、その成果は出ていると考えている。

(委員) 託児の人数は何人ぐらいを想定しているか。

(申請者) 9月の座談会で託児を利用する予定で、10人程度を予定している。

⑦区民相互交流事業 (栄町公民館運営委員会 区民相互交流事業部会)

(委員) 芋をつくられるということであるが、どこでつくるのか。車を利用される場合、駐車場などの問題があると思うが。

(申請者) 桜淵の方に畑を借りて実施する。乗り合いで移動するように考えている。

(委員) 花いっぱいコンテストはどのように実施をされるか。

(申請者) 昨年度は、希望者に鉢と苗をお配りして、花が咲くまで育てていただき、最終的には、しんしろまちなみ情報センターで展示をさせていただいた。その他、町内で展示するような活動を行いたいと考えている。具体的にどの場所を使って展示するかが決まっていないが、新城駅など、皆さんの目に付く場所で実施したいと考えている。

(委員) この鉢花は一年草なのか多年草なのか。この事業を継続するのであれば、一年草よりも多年草の方が経済的だと思う。

(申請者) 一年草を予定している。お話をお聞きして、今後検討していく必要があると思った。ただ、昨年度使用した鉢は今年も再利用するし、使える物は使っていくという事業であることをご理解いただきたい。

⑧280年余り続く伝統芸能を後世に残し、その文化を地域に発信する事業

(新城狂言同好会)

(委員) 祭礼の奉納以外での上演実績は。

(申請者) お盆過ぎに新城文化会館で「薪能」で上演を行っているが、その他依頼をされて公演を行うケースもある。昨年例で言うと、昨年の2月にしんしろ城下町の会から依頼されて、新城文化会館展示室にて狂言の説明や衣装の展示や上演を行ったり、新城小学校130周年記念式典での上演を実施した。また、昨年ではないが、旧鳳来の月見の宴に参加したり、三谷や蒲郡に行つて

上演したこともある。

(委員) お披露目会ではどのような形で行われるか。衣装の展示のみとなるのか。購入した衣装を使って実際に上演いただけると良いと思った。

(申請者) 交付金事業で購入した衣装を含め、できる限り多くの衣装を展示したいと考えており、地域の多くの皆さんにお声かけしたいと思う。その中で、狂言に興味を持っていただければ、それが新入会員の拡大にもつながると考えている。狂言の上演については前向きに検討したいと思うが、本町公民館はスペース的に無理なので、他の場所を借りて、実際に上演することができればより多くの人に集まっていただけたらと思う。会の中で検討してみたいと思う。

(委員) 衣装を新調するということであるが、古くなった衣装はどうするか。

(申請者) そのままの状態でも保管をする。収蔵庫があるので、そこで大切に保管する。どうしてもその衣装を使って上演する必要がある場合でも、すぐに使える状態にしておきたいと思う。

(委員) 現状狂言をやられる方はほぼ大人だけであると思う。こどもたちを巻き込んだ形はあるのか。

(申請者) 毎年祭礼の時には、小学校6年生の子たち全員に声をかけて、手を上げた子には祭礼の時に狂言をやらせてもらっている。しかし、薪能ではこれまでこどもが出たことはなく、会員にはこどもはいない。現在我々は会員10名で、会費を月額4,000円払っているが、その9割がご指導をいただく名古屋の先生への謝礼に充てている。こどもに入ってもらうのはいいが、会費をもらうのは申し訳ないと思う。このため、これまでは祭礼の時だけ臨時会員ということで、入ってもらっている。

(委員) 会員を外から募るようなお話があったが、まずは町内に目を向けていただいて、こども達に入ってもらえるなどの話も可能性があるようなので、開拓の余地があるのではないかと思う。意見として参考としていただければと思う。

(申請者) 今年の祭礼や、来年の薪能などでこどもの参加を考えていきたいと思う。

⑨入船地区内広報用掲示板設置事業 (入船公民館運営委員会 入船区広報委員会)

(委員) 掲示板へ掲示または掲示物を撤収する担当者は決まっているか。

(申請者) 掲示物によって変わらと思うが、区長や公民館長などが想定されると思うが詳細はこれから決めていく。

(委員) 回覧板は中々見ないのは理解できる。しかし用もなく、まちなかを歩く人たちを中々見かけないので、入船の掲示板を立てる場所にどれくらいの人を通るのか。

(申請者) 入船の中では、犬の散歩をしている人が多いと思っている。また、散歩をするお年寄りも多い。夕方から夜にかけて健康のためにウォーキングをする人も多くいる。入船の中では通勤通学、ゴミ出しなど多くの人が行き交うので、そういった方達も掲示板を見ると思う。

(委員) お年寄りは回覧を見ていると思うのでいいと思うが、問題は若い人たちだと思う。そういった若い人たちに見てもらいたいのであれば、掲示板よりも、ホームページやSNSなどを立ち上げて見てもらうような工夫が必要ではないか。

(申請者) 若い人の中でも世帯主の方は回覧を見ていると思う。回覧を見られないのは、そういった世帯のお年寄りであると思っている。SNSなどは自分がまだ作成ができないので、そういった方が出てくれば作成していきたい。

(委員) 今回の事業提案の経緯として回覧板に関するアンケートの回収率が7%ということであった。地域の意見として掲示板が必要という意見ではないように思う。まずはそのアンケートの回収率を上げる努力をすべきではないか。

(申請者) 色々と努力はしたが、最終的な結論として、公民館運営委員会の中で、掲示板を設置する決定をした。

4 議事 (非公開)

- ・地域活動交付金最終審議

事務局で集計した審査の結果を説明し、地域協議会としての最終的な審議を団体ごとに順番に行った。採点しなかった委員は協議から外れて審査を行った。

(審議の流れ)

①事業の採択及び不採択についての採決

②採択について付すべき地域協議会としての意見・条件について協議した。

9事業のうち8事業が採択基準の30点以上であったため、採択となった事業内容について条件付けはなく、協議会からの応援メッセージ等について、申請団体へ伝えることとなった。また不採択となった団体に対する意見については、採点が低くなった項目や要因を申請団体に伝え、今後の参考としていただくこととなった。

不採択となった事業については、以下のとおりであった。

入船地区内広報用掲示板設置事業 (入船公民館運営委員会 入船区広報委員会)

5 閉会